

10月1日

中小業者の実態を把握し、
最大限の支援を早く
企画調整局審査で大かわら議員



質問する大かわら鈴子議員

新型コロナウイルス感染症は、市民、中小業者に大きな影響を与えており、さらに深刻

9月29日、全世界で新型コロナウイルスによる死者数が100万人を超えました。年内には結核を上回り、死者数が感染症において最悪となる可能性も示唆されています。日本では国民や医療従事者、保健所の皆さんの努力で、死亡率は低い水準で収まっていますが、季節性インフルエンザが流行する時期をむかえるいま、市民の不安が増えています。「無症状者からの感染リスクを予防するため

10月5日

命の水、減免制度や
支援策で市民によりそう
水道行政をすすめよ
水道局審査で松本議員



質問する松本のり子議員

コロナ禍で生活が厳しくなった世帯が増えていきます。厚労省は水道料金の減免

決算特別委員会審査から②

1. withコロナ対応戦略について
2. 新たな交通政策の検討について
3. 奨学金返還支援について

質疑項目

な状況になっています。withコロナ対応戦略では、「市民の不安に向き合う」「事業継続、経営回復を最大限支援していく」としています。神戸市は、この立場に立ち支援することが求められています。大かわら議員は、客足が減り、収入が激減している兵庫区の中小業者や、派遣切りで失業し収入を失った市民の実態を示し、経済観光局とともに直接支援など早急に対策をとるように求めました。

答弁ダイジェスト

大畑副局長：我々も市内業者の方が非常に厳しい中、懸命に経営努力されていると認識している。様々な状況踏まえて市民・事業者・行政が一体となりながら共通認識をもって取り組んでいきたい。

大かわら議員：中小業者の方に真水を投入するぐらいが必要だ。実態を調査されているのだからリアルにつかんで、経済観光局と一緒に早くすすめていただきたい。

10月2日

市民の不安によりそい、
積極的に調査と検査をすすめよ
健康局審査で森本議員



質問する森本真議員

花田局長：日本の状況から考えて1500人しか死亡者が出ていないので、今の対応で間違いはない。

森本議員：市民の不安にむきあうべき。高齢者や基礎疾患をお持ちの皆さん、学校、保育所、飲食店などの社会的検査も積極的にやって欲しい。

1. 新型コロナウイルス感染症の特性について
2. 保健所の体制について
3. 地域医療を守るとりくみについて
4. 西市民病院のあり方について

質疑項目

にも、必要なPCR検査をしっかりとすべきだ」と指摘する森本議員に対し、健康局長は「検査を増やしても偽陽性が増えるので、その方を隔離、自宅待機させるのは人権としてどうか」「安全のための検査はする。不安な人は全部（検査を）やれというのは、これはまた違うカテゴリーだ」とともに答えません。

答弁ダイジェスト

森本議員：（感染率と死亡率が低い）シンガポールでは積極的に追跡調査とPCR検査をやっている。神戸市もみならうべきではないか。

1. 水道料金の減免について
2. 給水停止について

質疑項目

制度など柔軟な対応を水道事業者に求める要請を出しました。それを受け、兵庫県では32の自治体が水道料金の減免を実施していますが、神戸市は「独立採算制である上下水道会計の負担で減免をした場合、将来の値上げを早め、他の利用者に負担がいくため不公平である」「一般会計負担が原則なので、一律での水道の

減免はしない」としたため、既存の支払い猶予制度しかありません。松本議員は「厚労省の通知では減免をしても全額、国からの臨時交付金としているので、神戸市の負担はない。なぜ、活用しなかったのか」と質しました。

答弁ダイジェスト

山本局長：臨時交付金は承知している。市全体で考えた結果、充当しなかった
(2面につづく)

た。

松本議員：140億円臨時交付金が市に入ってきたのに、命の水には充当しな

10月6日

インバウンド頼みではなく、市民のための観光事業を 経済観光局審査で味口議員



質問する味口としゆき議員

神戸市は「市内宿泊・観光の推進」として2億5300万円の補正予算を計上しました。味口議員は「コロナ禍で経済政策の転換が求められている。インバウンドでの観光客が見込めないもとの、市としてもっと強化すべきだ」と質しました。さらに、神戸市が推しすすめる須磨海浜水族園・海浜公園再整備事業は『インバ

JR西日本が建て替え計画をすすめる三ノ宮駅ビルについて、神戸市は今年度中に予定していた都市計画決定が1年ずれ込むことを明らかにしました。新型コロナウイルス感染症の影響でJR西日本がすすめる事業計画の再検討に時間がかかるためです。林議員は、「今後個人・法人の市民税や固定資産税など市税収入が減ることも予想される。三宮の一等地でも公示地価の大幅な下落が報道された。この情勢の中でこのまま三宮再整備をすすめていいのか」と追及、一度立ち止まって再検討するよう求めました。

った。阪神間の他都市に聞いたら、福祉の観点で減免をしたと言われた。また、神戸市は一人親世帯に減免を検討していたのに、何故実施しなかったのか。

山本局長：総合的に皆で検討した結果、一人親世帯の減免をやめた。

松本議員：一番困窮している世帯へ予

算を出さない。弱い人たちに寄りそう姿勢がかけている。

その他の質問

- 水道事業を公共の立場ですすめよ
- 水の科学博物館について

—— 山本じゅんじ議員

1. 新型コロナウイルスを踏まえた中小事業者への支援について
 - 予算規模について
 - 神戸市 with コロナ対応戦略について
2. 新型コロナウイルスを踏まえた観光戦略の転換について
 - 国際会議場・展示場再整備の見直しについて
 - 須磨海浜水族園・海浜公園再整備の見直しについて

質疑項目

ウンドを含めた観光集客に貢献する都市型リゾート』を柱とした、民設民営の市民置き去りのコンセプトとなっています。味口議員は、インバウンドに大きく依存する計画自体が、コロナ禍のもとで成り立たなくなっていると指摘し、市民が安心して利用でき、市民に愛される施設になるよう、計画の見直しを求めました。

答弁ダイジェスト

安岡観光MICE担当部長：来館者の大半は国内で、インバウンドは10%程度と

想定している。メインターゲットをインバウンドとした事業ではない。

味口議員：10%どころか、コンセプトの柱として位置づけられているではないか。コロナの影響を見定め、市もこのまま計画をすすめるのは危険だということを事業者に提言する必要がある。

安岡観光MICE担当部長：再整備終了は2024年予定だ。コロナの状況も変わっているかもしれない。事業者もコロナの状況をわかったうえで、計画の変更はないと言っている。

味口議員：コロナの影響を受けた後の施策として、もっと真剣に検討すべきだ。値段設定も今までのように、おじいちゃんやおばあちゃんから孫の世代まで、市民が安心してくり返し訪れることができるように、計画を再検討すべきだ。

10月6日

三宮再整備は一度立ち止まって再検討を 都市局審査で林議員



質問する林まさひと議員

1. 都心三宮再整備計画について
2. 雲井通5丁目再開発事業について
3. 計画的開発団地のリノベーションについて
4. 公共交通政策について
5. 神鉄シーパスイワンの本格実施について

答弁ダイジェスト

大石都心再整備部長：魅力ある都市として発展していくには、玄関口としての三宮再整備をすすめていくことは大変重要。コロナでかわるものではない。

林議員：新長田再開発事業も赤字の決

算書が出された。慎重になるべきだ。

ぜひご視聴ください

山本じゅんじ議員が一般質問

日時 10月28日(水) 13時50分頃から 場所 市議会本会議場

時間が前後する可能性がありますので、余裕をもってご覧ください

本会議および委員会のインターネット中継をおこなっていますので、ぜひご利用ください

新型コロナウイルスの屋内感染防止のため、本会議および委員会の傍聴をご希望される方は、手洗い・アルコール消毒・マスクの着用、ならびに座席の間隔を空け、身体的距離を確保してお座りいただくようご協力をお願いいたします。

お詫びと訂正

市議会だよりNo.272について一部誤りがございましたので、ここに訂正し、お詫び申し上げます。
裏面・林議員の吹き出し部分 ⑤「港建築住宅局」➡⑥「建築住宅局」